

平成 19 年 7 月 24 日
自由民主党政務調査
会 長 中 川 昭 一

治安を再生し、暮らしの安全・安心を守ります。

わが党は、平成 15 年に「治安強化に関する緊急提言」を公表し、「5 年で治安の危機的現状を脱する」ことを宣言しました。以来、警察官の増員や不法滞在者の半減など、政府・与党をあげて総合的な対策に取り組んでいるところです。

近年の治安状況は、下記の各種データの示すとおり、徐々に回復しつつあります。しかしながら、子どもが関係する事件や凶悪事件が報道において目立つため、治安の体感温度なかなか改善されないのが現状です。

われわれは、今後とも対策の手を緩めることなく、『世界一安全な国・日本』をめざし、暮らしの安全・安心を守ります。

㊦ 刑法犯の認知・検挙状況の推移

	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年 (対 15 年比)	
認知件数	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	(- 26.5%)
検挙件数	648,319	667,620	649,503	640,657	
検挙率	23.2%	26.1%	28.6%	31.2%	(+ 8.0%)

(警察白書より)

㊦ 警察官 1 人当たりの負担人口の推移

平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
534 人	528 人	520 人	514 人	511 人

(警察白書より)

㊦ 不法残留者数の推移

平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年 (対 15 年比)	
220,552 人	219,418 人	207,299 人	193,745 人	170,839 人	- 22.5%)

(法務省入管局発表：各年 1 月 1 日の数値)